

左回転閉による特別型式

この書類は次の型式シリーズのアクチュエータ取扱説明書を補完するものです：

SA 07.2 ~ SA 16.2 / SAR 07.2 ~ SAR 16.2 / SAEx 07.2 ~ SAEx 16.2 / SAREx 07.2 ~ SAREx 16.2

SA 25.1 ~ SA 48.1 / SAR 25.1 ~ SAR 30.1 / SAEx 25.1 ~ SAEx 40.1 / SAREx 25.1 ~ SAREx 30.1

SQ 07.2 ~ SQ 14.2 / SQR 07.2 ~ SQR 14.2 / SQEx 07.2 ~ SQEx 14.2 / SQREx 07.2 ~ SQREx 14.2

SG 05.1 ~ SG 12.1 / SGR 05.1 ~ SGR 12.1 / SGExC 05.1 ~ SGExC 12.1

SA 07.1 ~ SA 16.1 / SAR 07.1 ~ SAR 16.1 / SAExC 07.1 ~ SAExC 16.1 / SARExC 07.1 ~ SARExC 16.1

「左回転閉」特別型式については以下の点にご注意ください：

手動操作

ハンドホイールを左に回すとバルブは「閉」方向に動きます。

回転方向の変更を明示するため、アクチュエータのハンドホイールに相応のマークが記されています。しかし稼働中はこのマークが無視されることがよくあります。従って本添付書類では追加の注意事項を記載しています。

結線図TPA：

スイッチの名称は、標準結線図とは異なります：

- トルクスイッチDSRIはDSLとなります。
- トルクスイッチDÖLはDÖRとなります。
- リミットスイッチWSRはWSLとなります。
- リミットスイッチWÖLはWÖRとなります。

リミットスイッチを設定する：

該当する取扱説明書をご覧ください。

全開位置 (赤い部分) を設定する

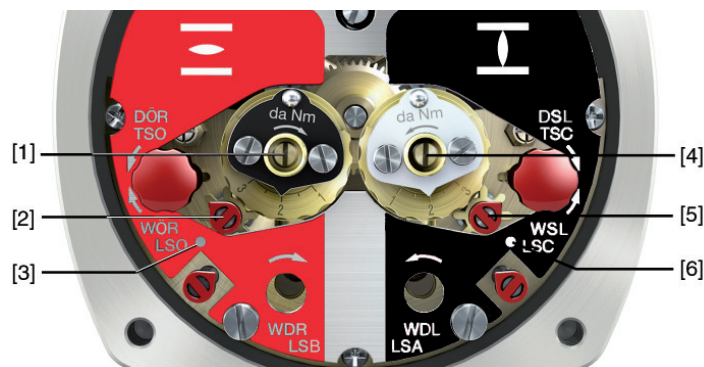
1. 手動操作にします。
2. バルブが開くまで、ハンドホイールを時計回りに回します。
3. ハンドホイールを約 1/2 回転 (アフターラン) 回し戻します。
4. 設定軸 [1] をねじ回しで押し下げ矢印の方向に回します。その際にポインタ [2] を注視します。カチッというラチェットが噛み合う音が聞こえ感知されるたびに、ポインタ [2] が 90° 移動します。

5. ポインタ [2] が印 [3] まであと 90° の位置まで来たならば、ゆっくりと回し続けます。
6. ポインタ [2] が印 [3] へ移動したならば、回すのを止めて設定軸を放します。

全閉位置 (黒い部分) を設定する

1. 手動操作にします。
2. バルブが閉じるまで、ハンドホイールを反時計回りに回します。
3. ハンドホイールを約 1/2 回転 (アフターラン) 回し戻します。
4. 設定軸 [4] (図) をねじ回しを使って押し下げ、矢印の方向に回します。その際にポインタ [5] を注視します。カチッというラチェットが噛み合う音が聞こえ感知されるたびに、ポインタ [5] が 90° 移動します。
5. ポインタ [5] が印 [6] まであと 90° の位置まで来たならば、ゆっくりと回し続けます。
6. ポインタ [5] が印 [6] へ移動したならば、回すのを止めて設定軸を放します。

図1: リミットスイッチを設定する



左回転閉による特別型式

中間位置を設定する(オプション):

図2: 中間開度を設定する

設定はアクチュエータの取扱説明書の記載に従って行ないます。しかし、以下の違いがあります。

- ・ 移動方向を閉に切り替えるには設定軸[4]を回します(黒い部分)。
- ・ 移動方向を開に切り替えるには設定軸[1]を回します(赤い部分)。



トルクスイッチを設定する:

設定はアクチュエータの取扱説明書の記載に従って行ないます。しかし、以下の違いがあります。

- ・ 全開位置の設定は、黒いトルクダイヤルで行ないます。
- ・ 全閉位置の設定は、白いトルクダイヤルで行ないます。

図3: トルクスイッチヘッド

開設定

閉設定



ポテンショメータを設定する(オプション):

設定はアクチュエータの取扱説明書の記載に従って行ないます。しかし、以下の違いがあります。

- ・ アクチュエータ・シリーズSA..., SQ...の場合:ストップ位置までポテンショメータ [1] を反時計回りに回します。
- ・ アクチュエータ・シリーズSG...の場合:ストップ位置までポテンショメータ [1] を時計回りに回します。